

## 平成 22 年度屋外展示資料保存整備 完了報告書

### 事業内容

#### 1. 展示船の保存整備

##### ① “宗谷”、“羊蹄丸” の保存整備

わが国南極観測船の嚆矢である“宗谷”及び青函連絡船“羊蹄丸”を良好な状態で保存・公開していくために必要な消耗品を購入するとともに、保険を付保した。

##### a. 保存整備に係る消耗品の購入

“宗谷”、“羊蹄丸”の保存整備に必要な工具、塗料等各種消耗品を購入した。

納品日：平成 22 年 6 月 25 日～平成 23 年 3 月 11 日

##### b. “宗谷”、“羊蹄丸” 保険付保

“宗谷”、“羊蹄丸”へ保険を付保した。

##### ②船舶検査

“宗谷”、“羊蹄丸”の船舶安全法施行規則に基づく船舶検査を行った。

##### a. “宗谷”、“羊蹄丸” の船舶検査

実施日：平成 23 年 2 月 17 日 “宗谷” 第 1 種中間検査

平成 23 年 3 月 17 日 “羊蹄丸” 第 1 種中間検査

#### 2. “羊蹄丸” 水域調査

平成 23 年 9 月 30 日展示休止以後の“羊蹄丸”の処理について行政協議を行い、“羊蹄丸”係留棧橋は必要な整備を施した上で東京都に譲渡する方向となった。また、“羊蹄丸”の譲渡手続きを円滑に進めるための有害物質調査を行うための仕様を策定するとともに、“羊蹄丸”譲渡事業者の選定業務を行い、「えひめ東予シップリサイクル研究会」を譲渡先として選定した。

実施日：平成 23 年 7 月 6 日～平成 23 年 10 月 31 日

#### 3. “羊蹄丸” アスベスト&PCB 調査

“羊蹄丸”譲渡手続きを円滑に進めるため、船内に残置されているアスベスト及び PCB の有害物質調査を行った。

実施日：平成 23 年 9 月 25 日～平成 23 年 10 月 20 日

#### 4. “羊蹄丸” 切り離し工事

“羊蹄丸”無償譲渡先募集要項に基づき、“羊蹄丸”と陸上を繋ぐ、電気、上下水道、ガスなどのライフラインと“羊蹄丸”係留チェーンの

切り離し工事を行うとともに、羊蹄丸移送後も栈橋上にある管理棟の防火機器などに電気が供給されるよう電気回路の切り回し工事を行った。

実施日：平成 24 年 2 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

#### 5. 栈橋上の施設撤去及び安全対策工事

“羊蹄丸”移送後の栈橋利用者の安全確保のため、施設撤去及び安全対策工事を行った。

実施日：平成 24 年 3 月 8 日～平成 24 年 3 月 31 日

#### 6. 旧マリンショップ改装工事

船の科学館本館の展示休止後も博物館活動を継続し、海事科学知識の普及を図るため、旧マリンショップ（屋外売店棟）を展示場に改装した。

実施日：平成 23 年 12 月 7 日～平成 24 年 3 月 19 日

### 事業目標の達成状況

#### 1. 展示船の保存整備

##### a. “宗谷”及び青函連絡船“羊蹄丸”の保存整備

わが国南極観測船の嚆矢である“宗谷”及び青函連絡船“羊蹄丸”を良好な状態で保存・公開していくために必要な消耗品を購入するとともに、保険を付保したことにより、乗船者の安全確保と保存に関する対応が出来た。

##### b. 船舶検査

“宗谷”、“羊蹄丸”の船舶安全法施行規則に基づく船舶検査を行うことが出来た。

#### 2. “羊蹄丸”水域調査

平成 23 年 9 月 30 日展示休止以後の“羊蹄丸”の処理について行政協議を行い、“羊蹄丸”係留栈橋は必要な整備を施した上で東京都に譲渡する方向となった。また、“羊蹄丸”の譲渡手続きを円滑に進めるための有害物質調査を行うための仕様を策定するとともに、“羊蹄丸”譲渡事業者の選定業務を行い、「えひめ東予シップリサイクル研究会」を譲渡先として選定することが出来た。

3. “羊蹄丸” アスベスト&PCB 調査

“羊蹄丸” 譲渡手続きを円滑に進めるため、船内に残置されているアスベスト及び PCB の有害物質調査を行うことが出来た。

4. “羊蹄丸” 切り離し工事

“羊蹄丸” 無償譲渡先募集要項に基づき、“羊蹄丸” と陸上を繋ぐ、電気、上下水道、ガスなどのライフラインと“羊蹄丸” 係留チェーンの切り離し工事を行うと同時に、羊蹄丸移送後も栈橋上にある管理棟の防火機器などに電気が供給されるよう電気回路の切り回し工事を行い、“羊蹄丸” 移送を可能とし、同船移送後の栈橋その他施設の管理条件を整備することが出来た。

5. 栈橋上の施設撤去及び安全対策工事

“羊蹄丸” を譲渡先へ移送後、栈橋上の施設撤去及び安全確保のための工事を行い、“羊蹄丸” 移送後の安全対策を講じることが出来た。

6. 旧マリンショップ改装工事

旧マリンショップ（屋外売店棟）を展示場に改装することにより、船の科学館本館の展示休止後も博物館活動を継続し、海事科学知識の普及を図ることが出来た。